

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成 24 年度第 1 回薬学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

I. 日時：平成 24 年 6 月 22 日（金）13：00～15：00

場所：アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館）

II. 出席者：松山委員長、黒澤副委員長、大嶋委員、大谷委員、松野委員（ネット参加）

（事務局 井端、森下、平田）

III. 検討事項

今回は薬学教育における教育改善モデルを実現するための教育力のうち、薬学教員に期待される専門性について以下のとおり検討した。

1. 薬学教育における教育改善モデルを実現するための教育力

前年度までに、各学系別の委員会で教育改善モデルの作成を行ったので、本年度は、この教育改善モデルを実施するために、教員に求められる学識としての「教育力」を提示することとなった。

はじめに、本経緯について事務局から以下の通り説明があった。大学を取り巻く環境が激変する中で、教育システムの抜本改革が望まれており、学生が主体的な学修に取り組むよう大学全体での改革を行う必要性が中教審部会から提言されている（参考 6）。こうした環境の中、個々の教員においても教育内容の自己点検や創意工夫、授業の位置づけや役割の明確化等を行い、「教育力」を提言する必要性が出てきた。そこで、本年度の学系別 FD/ICT 委員会では、この「教育力」に関する指針をまとめ提示することとなった。

上記の経緯を踏まえ、「薬学教員に期待される専門性」について検討し、「薬剤師」「創薬」などの特定の項目に限定するものではなく、広く薬学教育において必要な基盤を提言する内容にすることを確認した上で、以下のように作成した。

【1】薬学教員に期待される専門性

- ① 生命に関わる職業人としての自覚を有し、人の命と健康を守る人材を育てることに強い使命感をもった専門家であること。
- ② 他分野の多様な領域について、薬学との統合的な関連づけができること。
- ③ グローバルな視点から将来の医療や創薬に対する展望を有し、新たな課題の発見、科学的根拠に基づく問題解決、社会還元ができること。
- ④ 医療を求める人への共感的態度や生涯にわたり自らを向上させる態度を有していること。
- ⑤ 社会における薬学の役割を理解させ、学生の気付きを促し、主体的に取り組ませられること。
- ⑥ ICTなどを利用した教育技法を駆使して、多元型の教育を実践できること。

2. 今後の検討スケジュール

本日作成した「薬学教員に期待される専門性」を踏まえ、引き続いて【2】「教育改善モデル実現に求められる教育力」を完成させ、9月までに授業改善モデルの解説や具体化もを行い、最終的に報告書としてまとめることを確認した。そこで、第2回委員会は7月19日（木）16時から開催することに決定し、モデル実現のための教育力について検討することとした。